

(別紙)個別検診の内容及び受診率の推移について

吉越委員からの質疑

資料における「個別検診」は何を指しているのか。

また、受診率の推移はどのような状況か。

(資料「報告事項(1)-2」中、61 ページ)

光輝く高齢者未来計画2021 自己評価シート【フェイスシート】		令和5年8月10日 令和5年度第1回介護保険運営協議会資料 報告事項(1)-2						
基本目標	3	いつまでも元気に暮らせる健康づくり						
基本施策	3-1	成人期から取り組む健康づくり						
指標	⑥	高齢者等実態調査で、1年以内のがん検診を受けていると回答した人の割合 (一般若年者)						
担当部署	健康支援課							
<p><現状と課題></p> <p>がんやその他の疾患の早期発見、早期治療を目的に、結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診を実施しています。</p> <p>がん検診の有用性および受診方法の周知として、対象者へ通知・広報習志野・ホームページ、ポスター掲示などで周知し、がん検診を定期的に受診する意識づけのために、未受診者に対しては、個別通知にて受診勧奨を実施しています。</p> <p>また、検診の結果、要精密検査でありながら未受診の者に対しても、個別に受診勧奨を行っていません。</p> <p><u>受診率は、胃がん検診の集団検診は高齢化などにより年々減少傾向ですが、個別検診は横ばいもしくは増加しています。</u></p> <p>高齢者等実態調査で、1年以内のがん検診を受けていると回答した人の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28 (2016)年度</th> <th>令和元 (2019)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般若年者(40歳～64歳)(%)</td> <td>36.0</td> <td>47.0</td> </tr> </tbody> </table>				平成28 (2016)年度	令和元 (2019)年度	一般若年者(40歳～64歳)(%)	36.0	47.0
	平成28 (2016)年度	令和元 (2019)年度						
一般若年者(40歳～64歳)(%)	36.0	47.0						

事務局からの回答

資料における「個別検診」は、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんを指しています。また、受診率の推移は次のとおりです。

○一般若年者(40歳～64歳)の受診率の推移

[集団検診] (%)

	H28	H29	H30	R1
胃がん	7.26	7.24	7.16	6.98
肺がん	6.34	6.02	5.84	5.83

[個別検診] (%)

	H28	H29	H30	R1
大腸がん	5.94	6.02	6.00	8.16
子宮がん	8.90	9.28	9.38	9.56
乳がん	10.20	10.30	10.36	10.90
前立腺がん	5.10	5.60	5.70	6.30